

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆



防火材料認定番号	品目名
NM-8585	塗料塗装/不燃材料
QM-9816	塗料塗装/準不燃材料
RM-9364	塗料塗装/難燃材料

内装用水性特殊多彩意匠仕上材

 パーフェクトインテリア ^{エモ} EMO

EMO®
paint

for Professional

施工要領書



カタログ・施工要領書に掲載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただきますようお願いいたします。

内装用水性特殊多彩意匠仕上材
ニッペ パーフェクトインテリア EMO

EMO[®] *paint* for Professional

施工要領書 目次

特長	3 P
適用下地	
商品体系	
各種塗料と施工道具	
パターンと色相	4 P
標準塗装仕様	5 P
施工方法 EMO フリッカー	6 P
EMO シルク	7 P
EMO トゥインクル	8 P
EMO フロスト	9 P
施工上の注意事項	10 P
安全衛生上の注意事項	11 P

特長



適用下地

各種ボード、コンクリート、モルタル、平滑な塩ビクロス面、旧塗膜 (EP等)

※凹凸のある塩ビクロス面に塗装した場合、意匠が十分に出ない可能性があります。

商品体系

ニッペ パーフェクトインテリア共通下塗 ————— 16kg・4kg

ニッペ パーフェクトインテリアEMO ————— 15kg・4kg

各種塗料と施工道具

塗料名	施工道具 (推奨)
ニッペ パーフェクトインテリアEMO フリッカー	はけ ^{※1} 、プラスチックヘラ ^{※3}
ニッペ パーフェクトインテリアEMO シルク	はけ ^{※1}
ニッペ パーフェクトインテリアEMO トウインクル	はけ ^{※1} 、プラスチックヘラ ^{※3}
ニッペ パーフェクトインテリアEMO フロスト	はけ ^{※2}

※1 はけは「BH3 1/2」を推奨します (大塚刷毛社製) ※2 はけは「Bコピー」を推奨します (大塚刷毛社製) ※3 プラスチックヘラは「スムーディ」を推奨します (フジワラ化学社製)



BH3 1/2



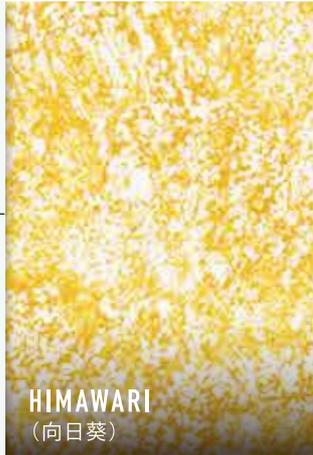
Bコピー



スムーディ

EMO flicker

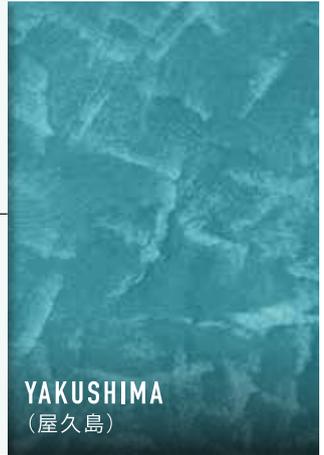
異なる色合いを刷毛で重ね合わせ、プラスチックヘラにより多彩な意匠を創出できる特殊効果ペイント



HIMAWARI
(向日葵)

EMO twinkle

刷毛とプラスチックヘラで陰影感を出し、見る角度により異なる意匠が楽しめる特殊効果ペイント



YAKUSHIMA
(屋久島)



KOMOREBI
(木漏れ日)



HATSUSHIMO
(初霜)



JUGOYA
(十五夜)



SUBARU
(昴)

EMO silk

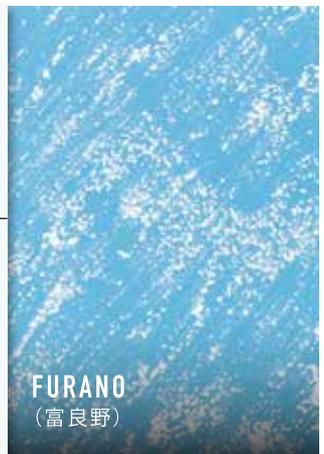
ランダムに刷毛を重ね合わせシルクタッチをイメージした特殊効果ペイント



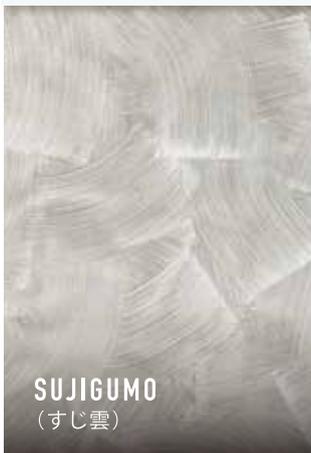
KUNPU
(薫風)

EMO frost

粒々を刷毛で散りばめることにより、荘厳で神秘的な独特の意匠を創出する特殊効果ペイント



FURANO
(富良野)



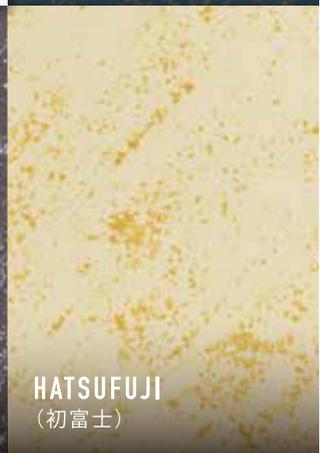
SUJIGUMO
(すじ雲)



AKATSUKI
(暁)



SEIYA
(聖夜)



HATSUFUJI
(初富士)

標準塗装仕様

標準塗装仕様 新設

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23°C)	希釈剤・希釈率	塗装方法
素地調整	●エフロレッセンス、レイタンスなどの粉化物、よごれ、油分などを除去してください。					
シーラー	ニッペ 水性カチオンシーラー ホワイト	1	0.10～0.16※2	4時間以上	水道水 0～10%	ウールローラー、はけ、エアレスプレー※3
下塗り	ニッペ パーフェクトインテリア共通下塗	1※1	0.12～0.14※2	2時間以上	水道水 2～8%	ウールローラー、はけ、エアレスプレー
上塗り	ニッペ パーフェクトインテリアEMO フリッカー	1	0.30～0.36※2	—	—	はけ
	10～15分後にプラスチックヘラでクロス状に表面を擦る					
	ニッペ パーフェクトインテリアEMO シルク	2	0.08～0.10※2	直後	—	ウールローラー
			0.12～0.14※2	—	—	はけ
	ニッペ パーフェクトインテリアEMO トウインクル	1	0.16～0.18※2	—	—	はけ
5～10分後にプラスチックヘラでランダムに表面を擦る						
ニッペ パーフェクトインテリアEMO フロスト	1	0.18～0.24※2	—	—	はけ	

※1 透けが目立つ場合は増し塗りを行ってください。

※2 「ニッペ パーフェクトインテリア共通下塗」の塗付け量は0.10kg/m²/回です。・「ニッペ パーフェクトインテリアEMOフリッカー」の塗付け量は0.27kg/m²/回です。・「ニッペ パーフェクトインテリアEMO シルク」の塗付け量は0.18kg/m²/2回です。・「ニッペ パーフェクトインテリアEMOトウインクル」の塗付け量は0.14kg/m²/回です。・「ニッペ パーフェクトインテリアEMOフロスト」の塗付け量は0.16kg/m²/回です。・使用量:被塗装面単位面積当たりの塗装材料(希釈する前)の使用質量 ・塗付け量:被塗装面単位面積当たりの塗装材料(希釈する前)の付着質量

※3 「ニッペ水性カチオンシーラー ホワイト」のエアレスプレー使用時の使用量は0.12～0.16kg/m²/回です。

標準塗装仕様 改修

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23°C)	希釈剤・希釈率	塗装方法
素地調整	●浮き膜を除去し、その周辺もケレンしてください。●粉化物、よごれ、ごみ、かびなどを除去し、清掃してください。●塩化ビニールクロス面のめくれ、浮き、破れなどは十分に補修し、油よごれ、水溶性の汚染物などは中性洗剤で拭き取り、さらにウエスで水拭きした乾燥した面にしてください。					
下塗り	ニッペ パーフェクトインテリア共通下塗	1	0.12～0.14※2	2時間以上	水道水 2～8%	ウールローラー、はけ、エアレスプレー
上塗り	ニッペ パーフェクトインテリアEMO フリッカー	1※1	0.30～0.36※2	—	—	はけ
	10～15分後にプラスチックヘラでクロス状に表面を擦る					
	ニッペ パーフェクトインテリアEMO シルク	2	0.08～0.10※2	直後	—	ウールローラー
			0.12～0.14※2	—	—	はけ
	ニッペ パーフェクトインテリアEMO トウインクル	1	0.16～0.18※2	—	—	はけ
5～10分後にプラスチックヘラでランダムに表面を擦る						
ニッペ パーフェクトインテリアEMO フロスト	1	0.18～0.24※2	—	—	はけ	

※1 透けが目立つ場合は増し塗りを行ってください。

※2 「ニッペ パーフェクトインテリア共通下塗」の塗付け量は0.10kg/m²/回です。・「ニッペ パーフェクトインテリアEMOフリッカー」の塗付け量は0.27kg/m²/回です。・「ニッペ パーフェクトインテリアEMOシルク」の塗付け量は0.18kg/m²/2回です。・「ニッペ パーフェクトインテリアEMOトウインクル」の塗付け量は0.14kg/m²/回です。・「ニッペ パーフェクトインテリアEMOフロスト」の塗付け量は0.16kg/m²/回です。・使用量:被塗装面単位面積当たりの塗装材料(希釈する前)の使用質量 ・塗付け量:被塗装面単位面積当たりの塗装材料(希釈する前)の付着質量

下塗り組合せ一覧

	フリッカー	シルク	トウインクル	フロスト
上塗り	向日葵、木漏れ日、初霜	薫風、すじ雲、暁	屋久島、十五夜、昴	富良野 聖夜 初富士
下塗り	共通下塗 白			共通下塗 富良野 共通下塗 聖夜 共通下塗 初富士

EMO frost



はじめに 新設、改修ともに塗装面のよごれ・油分などを除去し、下塗りを開始してください。新設の場合は「ニッペ 水性カチオンシーラー ホワイト」を塗装後、「ニッペ パーフェクトインテリア共通下塗」を塗装してください。



下塗り ニッペ パーフェクトインテリア共通下塗をローラー 1回※塗りしてください。

※写真はSEIYA(聖夜)用下塗り剤です。
※透けが目立つ場合は増し塗りを行ってください。



攪拌 粒子をつぶさないようにゆっくり手攪拌※してください。攪拌は2分以内です。

※電動攪拌機は使用しないでください。



上塗り 刷毛先1/3以内に塗料を付け、刷毛と壁面の角度を45度以内に保ちながら矢印方向に配ってください(1回のストローク:15~20cm)。これを繰り返し、塗料中に含まれる粒子を壁面に均等に配っていきます。



Before
乾燥前

After
乾燥後

標準塗装仕様 新設

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23°C)	希釈剤・希釈率	塗装方法
素地調整	●エフロレッセンス、レイタンスなどの粉化物、よごれ、油分などを除去してください。					
シーラー	ニッペ 水性カチオンシーラー ホワイト	1	0.10 ~ 0.16※ ²	4時間以上	水道水 0 ~ 10%	ケールローラー、はけ、エアースプレー※ ³
下塗り	ニッペ パーフェクトインテリア共通下塗	1※ ¹	0.12 ~ 0.14※ ²	2時間以上	水道水 2 ~ 8%	ケールローラー、はけ、エアースプレー
上塗り	ニッペ パーフェクトインテリアEMO フロスト	1	0.18 ~ 0.24※ ²	—	—	はけ

※¹ 透けが目立つ場合は増し塗りを行ってください。
 ※² ・「ニッペ パーフェクトインテリア共通下塗」の塗付け量は0.10kg/m²/回です。・「ニッペ パーフェクトインテリアEMOフロスト」の塗付け量は0.16kg/m²/回です。
 ・使用量:被塗装面単位面積当たりの塗装材料(希釈する前)の使用質量 ・塗付け量:被塗装面単位面積当たりの塗装材料(希釈する前)の付着質量
 ※³ ・「ニッペ水性カチオンシーラー ホワイト」のエアースプレー使用時の使用量は0.12 ~ 0.16kg/m²/回です。

標準塗装仕様 改修

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23°C)	希釈剤・希釈率	塗装方法
素地調整	●浮き膜を除去し、その周辺もケレンしてください。●粉化物、よごれ、ごみ、かびなどを除去し、清掃してください。●塩化ビニールクロス面のめくれ、浮き、破れなどは十分に補修し、油よごれ、水溶性の汚染物などは中性洗剤で拭き取り、さらにウエスで水拭きした乾燥した面にしてください。					
下塗り	ニッペ パーフェクトインテリア共通下塗	1※ ¹	0.12 ~ 0.14※ ²	2時間以上	水道水 2 ~ 8%	ケールローラー、はけ、エアースプレー
上塗り	ニッペ パーフェクトインテリアEMO フロスト	1	0.18 ~ 0.24※ ²	—	—	はけ

※¹ 透けが目立つ場合は増し塗りを行ってください。
 ※² ・「ニッペ パーフェクトインテリア共通下塗」の塗付け量は0.10kg/m²/回です。・「ニッペ パーフェクトインテリアEMOフロスト」の塗付け量は0.16kg/m²/回です。
 ・使用量:被塗装面単位面積当たりの塗装材料(希釈する前)の使用質量 ・塗付け量:被塗装面単位面積当たりの塗装材料(希釈する前)の付着質量

注 上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。
注 塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)
注 EMOは、毎回違った表情を楽しめる塗料です。写真は一例のため、実際の色やテクスチャーは光源の種類や塗り方によって異なります。

EMO flicker



推奨施工工具



はじめに

新設、改修ともに塗装面のよごれ・油分などを除去し、下塗りを開始してください。新設の場合は「ニッペ 水性カチオンシーラー ホワイト」を塗装後、「ニッペ パーフェクトインテリア共通下塗」を塗装してください。



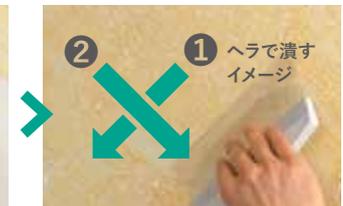
下塗り ニッペ パーフェクトインテリア共通下塗をローラー 1回塗り※1してください。
※透けが目立つ場合は増し塗りを行ってください。



攪拌 粒子をつぶさないようにゆっくり手攪拌※2 2分以内です。
※電動攪拌機は使用しないでください。



上塗り 刷毛先1/3以内に塗料を付け、刷毛と壁面の角度を45度以内に保ちながら、粒子を均一に①②の順に矢印方向ヘラシタムに配ります(塗り重ねは少なく、1回のストローク:10~15cm)。大面積の場合、壁面1.5~2m位の間隔で塗付量の均一性を確認してください。塗料が少ない場合は追加し、多い場合は刷毛先で取り除いてください。



仕上げ プラスチックヘラと壁面の角度を45度以内に保ちながら①②の順に矢印方向ヘラシタムに動かし粒子をつぶし広げていきます(1回のストローク:10~15cm)。へらに塗着した塗料は適宜ウェス等で拭き取ってください。

標準塗装仕様 新設

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤・希釈率	塗装方法
素地調整	●エフロレッセンス、レイタンスなどの粉化物、よごれ、油分などを除去してください。					
シーラー	ニッペ 水性カチオンシーラー ホワイト	1	0.10 ~ 0.16※2	4時間以上	水道水 0 ~ 10%	ケールラー、はけ、エアスプレー※3
下塗り	ニッペ パーフェクトインテリア共通下塗	1※1	0.12 ~ 0.14※2	2時間以上	水道水 2 ~ 8%	ケールラー、はけ、エアスプレー
上塗り	ニッペ パーフェクトインテリアEMO フリッカー	1	0.30 ~ 0.36※2	—	—	はけ
			10~15分後にプラスチックヘラでクロス状に表面を擦る			

※1 透けが目立つ場合は増し塗りを行ってください。
 ※2 「ニッペ パーフェクトインテリア共通下塗」の塗付量は0.10kg/m²/回です。・「ニッペ パーフェクトインテリアEMOフリッカー」の塗付量は0.27kg/m²/回です。
 ・使用量:被塗装面単位面積当たりの塗装材料(希釈する前)の使用質量 ・塗付量:被塗装面単位面積当たりの塗装材料(希釈する前)の付着質量
 ※3 「ニッペ水性カチオンシーラー ホワイト」のエアレスプレー使用時の使用量は0.12~0.16kg/m²/回です。

標準塗装仕様 改修

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤・希釈率	塗装方法
素地調整	●浮き膜を除去し、その周辺もケレンしてください。●粉化物、よごれ、ごみ、かびなどを除去し、清掃してください。●塩化ビニールクロス面のめくれ、浮き、破れなどは十分に補修し、油よごれ、水溶性の汚染物などは中性洗剤で拭き取り、さらにウェスで水拭きした乾燥した面にしてください。					
下塗り	ニッペ パーフェクトインテリア共通下塗	1※1	0.12 ~ 0.14※2	2時間以上	水道水 2 ~ 8%	ケールラー、はけ、エアスプレー
上塗り	ニッペ パーフェクトインテリアEMO フリッカー	1	0.30 ~ 0.36※2	—	—	はけ
			10~15分後にプラスチックヘラでクロス状に表面を擦る			

※1 透けが目立つ場合は増し塗りを行ってください。
 ※2 「ニッペ パーフェクトインテリア共通下塗」の塗付量は0.10kg/m²/回です。・「ニッペ パーフェクトインテリアEMOフリッカー」の塗付量は0.27kg/m²/回です。
 ・使用量:被塗装面単位面積当たりの塗装材料(希釈する前)の使用質量 ・塗付量:被塗装面単位面積当たりの塗装材料(希釈する前)の付着質量

注) 上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。注) 塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります) 注) EMOは、毎回違った表情を楽しめる塗料です。写真は一例のため、実際の色やテクスチャーは光源の種類や塗り方によって異なります。

EMO twinkle



推奨施工具



はじめに

新設、改修ともに塗装面のよごれ・油分などを除去し、下塗りを開始してください。新設の場合は「ニッペ 水性カチオンシーラー ホワイト」を塗装後、「ニッペ パーフェクトインテリア共通下塗」を塗装してください。



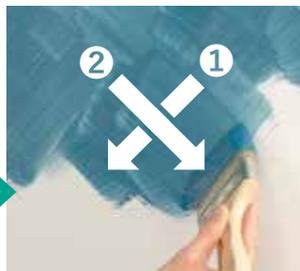
下塗り

ニッペ パーフェクトインテリア共通下塗をローラー 1回塗り※してください。 ※透けが目立つ場合は増し塗りを行ってください。



攪拌

手攪拌を行い、塗料を均一にしてください。



上塗り

刷毛先1/3以内に塗料を付け、刷毛と壁面の角度を45度以内に保ちながら①②の順に矢印方向へランダムに配り、塗り重ねは塗料が乾く前に行ってください(1回のストローク:10～15cmで刷毛目状の透けが大きく目立たない程度に塗料は多目に塗りつける)。



仕上げ1

5～10分後にプラスチックヘラをランダムに大きく動かし、塗料を軽く削り取ってください。



仕上げ2

プラスチックヘラと壁面の角度を45度以内に保ちながら小さい円を描くように動かし、模様を付けてください。

標準塗装仕様 新設

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23°C)	希釈剤・希釈率	塗装方法
素地調整	●エフロレッセンス、レイタンスなどの粉化物、よごれ、油分などを除去してください。					
シーラー	ニッペ 水性カチオンシーラー ホワイト	1	0.10～0.16※ ²	4時間以上	水道水0～10%	ケールー、はけ、エアースプレー※ ³
下塗り	ニッペ パーフェクトインテリア共通下塗	1※ ¹	0.12～0.14※ ²	2時間以上	水道水2～8%	ケールー、はけ、エアースプレー
上塗り	ニッペ パーフェクトインテリアEMO トゥインクル	1	0.16～0.18※ ²	—	—	はけ
			5～10分後にプラスチックヘラでランダムに表面を擦る			

※¹ 透けが目立つ場合は増し塗りを行ってください。

※² 「ニッペ パーフェクトインテリア共通下塗」の塗付け量は0.10kg/m²/回です。「ニッペ パーフェクトインテリアEMOトゥインクル」の塗付け量は0.14kg/m²/回です。

・使用量:被塗装面単位面積当たりの塗装材料(希釈する前)の使用質量 ・塗付け量:被塗装面単位面積当たりの塗装材料(希釈する前)の付着質量

※³ 「ニッペ水性カチオンシーラー ホワイト」のエアースプレー使用時の使用量は0.12～0.16kg/m²/回です。

標準塗装仕様 改修

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23°C)	希釈剤・希釈率	塗装方法
素地調整	●浮き膜を除去し、その周辺もケレンしてください。●粉化物、よごれ、かびなどを除去し、清掃してください。●塩化ビニールクロス面のめくれ、浮き、破れなどは十分に補修し、油よごれ、水溶性の汚染物などは中性洗剤で拭き取り、さらにウエスで水拭きした乾燥した面に行ってください。					
下塗り	ニッペ パーフェクトインテリア共通下塗	1※ ¹	0.12～0.14※ ²	2時間以上	水道水2～8%	ケールー、はけ、エアースプレー
上塗り	ニッペ パーフェクトインテリアEMO トゥインクル	1	0.16～0.18※ ²	—	—	はけ
			5～10分後にプラスチックヘラでランダムに表面を擦る			

※¹ 透けが目立つ場合は増し塗りを行ってください。

※² 「ニッペ パーフェクトインテリア共通下塗」の塗付け量は0.10kg/m²/回です。「ニッペ パーフェクトインテリアEMOトゥインクル」の塗付け量は0.14kg/m²/回です。

・使用量:被塗装面単位面積当たりの塗装材料(希釈する前)の使用質量 ・塗付け量:被塗装面単位面積当たりの塗装材料(希釈する前)の付着質量

注) 上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

注) 塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

注) EMOは、毎回違った表情を楽しめる塗料です。写真は一例のため、実際の色やテクスチャーは光源の種類や塗り方によって異なります。

EMO silk



推奨施工具



はじめに

新設、改修ともに塗装面のよごれ・油分などを除去し、下塗りを開始してください。新設の場合は「ニッペ 水性カチオンシーラー ホワイト」を塗装後、「ニッペ パーフェクトインテリア共通下塗」を塗装してください。



下塗り ニッペ パーフェクトインテリア共通下塗をローラー 1回塗り※1してください。

※透けが目立つ場合は増し塗りを行ってください。



攪拌 手攪拌を行い、塗料を均一にしてください。



上塗り 全面に白の露出面を出さない程度にウールローラー 1回塗りを行ってください。



仕上げ 刷毛と壁面の角度を45度以内に保ちながら①②の順に矢印方向へランダムに配り、塗り重ねは塗料が乾く前に行ってください(1回のストローク:10~15cm)。

標準塗装仕様 新設

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤・希釈率	塗装方法
素地調整	●エフロレッセンス、レイタンスなどの粉化物、よごれ、油分などを除去してください。					
シーラー	ニッペ 水性カチオンシーラー ホワイト	1	0.10 ~ 0.16※2	4時間以上	水道水 0 ~ 10%	ケールテ、はけ、エアースプレー※3
下塗り	ニッペ パーフェクトインテリア共通下塗	1※1	0.12 ~ 0.14※2	2時間以上	水道水 2 ~ 8%	ケールテ、はけ、エアースプレー
上塗り	ニッペ パーフェクトインテリアEMO シルク	2	0.08 ~ 0.10※2	直後	—	ウールローラー
			0.12 ~ 0.14※2	—	—	はけ

※1 透けが目立つ場合は増し塗りを行ってください。

※2 ・「ニッペ パーフェクトインテリア共通下塗」の塗付け量は0.10kg/m²/回です。・「ニッペ パーフェクトインテリアEMOシルク」の塗付け量は0.18kg/m²/2回です。

・使用量:被塗装面単位面積当たりの塗装材料(希釈する前)の使用質量 ・塗付け量:被塗装面単位面積当たりの塗装材料(希釈する前)の付着質量

※3 ・「ニッペ水性カチオンシーラー ホワイト」のエアースプレー使用時の使用量は0.12 ~ 0.16kg/m²/回です。

標準塗装仕様 改修

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤・希釈率	塗装方法
素地調整	●浮き膜を除去し、その周辺もケレンしてください。●粉化物、よごれ、ごみ、かびなどを除去し、清掃してください。●塩化ビニールクロス面のめくれ、浮き、破れなどは十分に補修し、油よごれ、水溶性の汚染物などは中性洗剤で拭き取り、さらにウエスで水拭きした乾燥した面にしてください。					
下塗り	ニッペ パーフェクトインテリア共通下塗	1※1	0.12 ~ 0.14※2	2時間以上	水道水 2 ~ 8%	ケールテ、はけ、エアースプレー
上塗り	ニッペ パーフェクトインテリアEMO シルク	2	0.08 ~ 0.10※2	直後	—	ウールローラー
			0.12 ~ 0.14※2	—	—	はけ

※1 透けが目立つ場合は増し塗りを行ってください。

※2 ・「ニッペ パーフェクトインテリア共通下塗」の塗付け量は0.10kg/m²/回です。・「ニッペ パーフェクトインテリアEMOシルク」の塗付け量は0.18kg/m²/2回です。

・使用量:被塗装面単位面積当たりの塗装材料(希釈する前)の使用質量 ・塗付け量:被塗装面単位面積当たりの塗装材料(希釈する前)の付着質量

注 上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。 **注** 塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります) **注** EMOは、毎回違った表情を楽しめる塗料です。写真は一例のため、実際の色やテクスチャーは光源の種類や塗り方によって異なります。

施工上の注意事項

ニッペ パーフェクトインテリア共通下塗

- ニッペ パーフェクトインテリア共通下塗を塗装後に透けが気になる場合は、増し塗りし、透けがないことを確認後、上塗を塗装してください。
- 新設の素材に塗装する際は、専用下塗の下に必ずニッペ水性カチオンシーラー ホワイトをご使用ください。
- 下地にタバコのやに汚れが著しい場合は、やに止め効果の高いニッペケンエースG-IIを塗装し、やにを止めてから標準仕様で塗装してください。
- 反応硬化タイプの塗料のため、使用後ははけなどはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。
- 鉄部には直接塗装できません。あらかじめ、さび止め塗料を塗っておく必要があります。
- さびは、ワイヤブラシ・サンドペーパーなどで入念に除去し、膨れ・割れの発生にも注意し、十分なケレンを行ってください。
- 下地の状態や形状、面積、塗料温度、塗装条件などによって、見本と色調および模様の変異を生じる可能性がありますので、塗装前に試し塗りをしてください。
- 塗装直後と乾燥後では若干色が異なる場合があります。
- 布クロス、紙クロス、汚染防止クロス、機能性クロス、シリコン加工され水をかけると著しくはじくクロスには塗装できません。
- 施工に関しましては、必ずニッペパーフェクトインテリア各種施工要領書をご参照ください。
- 防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理してから塗装してください。
- 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けてください。
- 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
- 色相によっては降雨、結露によってぬれ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
- 乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。スプレーノズルの先端は、ときどき水洗いをしてください。作業効率の低下および塗りむらの原因になります。
- 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。
- 反応硬化タイプの塗料のため、使用後ははけなどはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。
- 動物のけは、はげが固まったりダマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
- 塗膜に割れが生じるおそれがあるため、軟らかい塗膜の上への塗装は避けてください。
- つや有り仕上げを塗り替える場合、種類によっては適性がない場合がありますので、試し塗りをしてから本施工してください。
- 繊維壁、耐火被覆用けい酸カルシウム板、ロックウールなどの非常にぜい弱な素材には塗装できません。
- 吸音板塗り替え用顔料分塗材(シールマットIIなど)の塗り替えには使用できません。
- 氷点下で貯蔵すると凍ります。凍らないように5℃以上で貯蔵、保管してください。
- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- 内部塗り替えにおいて旧塗膜がOP、FEなどの油性系の場合、研磨すりを行ってください。下地処理が不十分な場合は、塗膜はく離の原因となります。
- 風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。
- 塩化ビニールクロスのはがれ、めくれ、浮きなどは接着剤で貼り付け、ローラーで圧着したり、類似クロスで面合わせをするなどあらかじめ補修してください。またクロスは接着剤が低下している場合、塗装することでクロスが浮き上がることがありますので、クロスは合わせ部などはあらかじめ接着剤などで抑えておくことが安心です。
- 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツ科学社製H500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
- 素地の乾燥は十分に行ってください。
- 表面のごみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- 新設ALCパネルなど表面がぜい弱な素材の場合、本品の凝集力によって下地の表層からはく離する場合がありますので、本品を直接塗装することは避けてください。
- 素材にセメント成分が使われている場合は、エフロレッセンスが発生するおそれがありますので溶剤系シーラーをご使用ください。
- 新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
- 塗装直後から頻繁に人が触れるようなドアの一部や手すりなどでは、皮脂の影響により塗膜表面の軟化が起こるおそれがあります。必要に応じて保護プレートなどで接触防止を行ってください。
- カウンター、陳列棚、ベンチ、床面などが常時置かれるような場所には跡がつくおそれがありますので塗装しないでください。
- 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペプライドオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がりが異なる場合があります。
- 塗装方法により色相が多少変化する場合がありますので、ローラー塗りではできる限り入り隅まで入れてください。
- 汚れ、さびなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- 塗装面以外に付着した場合は、乾燥するまでにラッカーシンナーまたは塗料用シンナーで洗い落とすしてください。
- 可塑剤が多く含まれる塩ビ鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
- 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

ニッペ パーフェクトインテリアEMO

1. ニッペパーフェクトインテリアEMOは、毎回違った表情を奏する塗料です。色やテクスチャーは光源の種類や塗り方によって異なります。
2. ニッペパーフェクトインテリアEMOは経時により流動性が低下しますので、ご使用前には必ず流動性が現るまで、よく攪拌してください。なお、攪拌棒などを使い、手でゆるやかに攪拌してください。粒子がつぶれるおそれがありますので、電動攪拌機などは使用しないでください。
3. ニッペパーフェクトインテリアEMOを塗装する際は必ず推奨刷毛、推奨プラスチックヘラをご使用ください。
4. 新設の素材に塗装する際は、専用下塗の下に必ずニッペ水性カチオンシーラー ホワイトをご使用ください。
5. 推奨プラスチックヘラによる仕上げは、乾燥条件、塗分量、使用するタイミングにより、意匠に差異を生じる可能性がありますので、事前に試し塗りを条件などを設定してから本施工に入ってください。
6. タッチアップ部が目立ちやすいため、塗膜に傷が入らないようにご注意ください。
7. 乾燥後は塗り継ぎができませんので、塗装の際は連続して一面毎に仕上げるようにしてください。
8. 曲線状や複雑な構造の壁面など、推奨プラスチックヘラを均一にあてることが困難な箇所の塗装は、意匠が十分に不出ない可能性があります。
9. 施工に関しましては、必ずニッペパーフェクトインテリアEMO施工要領書をご参照ください。
10. 布クロス、紙クロス、汚染防止クロス、機能性クロス、シリコン加工され水をかけると著しくはじくクロスには塗装できません。
11. 下地にタバコのやに汚れが著しい場合は、やに止め効果の高いニッペケンエースG-IIを塗装し、やにを止めてから標準仕様で塗装してください。
12. 防かび効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理してから塗装してください。
13. 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けてください。
14. 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
15. 色相によっては降雨、結露によってぬれ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
16. 乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。
17. 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。
18. 反応硬化タイプの塗料のため、使用後ははけなどはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。
19. 塗膜に割れが生じるおそれがあるため、軟らかい塗膜の上への塗装は避けてください。
20. つや有り仕上げを塗り替える場合、種類によっては適性がない場合がありますので、試し塗りをしてから本施工してください。
21. 繊維壁、耐火被覆用けい酸カルシウム板、ロックウールなどの非常にぜい弱な素材には塗装できません。
22. 吸音板塗り替え用顔料分塗材(シールマットIIなど)の塗り替えには使用できません。
23. 氷点下で貯蔵すると凍ります。凍らないように5℃以上で貯蔵、保管してください。
24. 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
25. 内部塗り替えにおいて旧塗膜がOP、FEなどの油性系の場合、研磨すりを行ってください。下地処理が不十分な場合は、塗膜はく離の原因となります。
26. 風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。
27. 塩化ビニールクロスのはがれ、めくれ、浮きなどは接着剤で貼り付け、ローラーで圧着したり、類似クロスで面合わせをするなどあらかじめ補修してください。またクロスは接着剤が低下している場合、塗装することでクロスが浮き上がることがありますので、クロスは合わせ部などはあらかじめ接着剤などで抑えておくことが安心です。
28. 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツ科学社製H500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
29. 素地の乾燥は十分に行ってください。
30. 表面のごみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
31. 新設の押出成形セメント板、GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペ液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
32. 塗装直後から頻繁に人が触れるようなドアの一部や手すりなどでは、皮脂の影響により塗膜表面の軟化が起こるおそれがあります。必要に応じて保護プレートなどで接触防止を行ってください。
33. カウンター、陳列棚、ベンチ、床面などが常時置かれるような場所には跡がつくおそれがありますので塗装しないでください。
34. 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
35. 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
36. 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に、火気厳禁にしてください。
37. 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
38. シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペプライドオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
39. 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
40. 汚れ、さびなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
41. 可塑剤が多く含まれる塩ビ鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
42. 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
43. 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
44. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

安全衛生上の注意事項

ニッペ パーフェクトインテリア共通下塗 白		横倒禁止
<ol style="list-style-type: none"> 1. 本来の用途以外に使用しないでください。 2. 使用前に取扱説明書を入手してください。 3. すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。 4. 取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。 5. 必要な場合以外は、環境への放出をさけてください。 6. 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用してください。 7. 口をすすいでください。 8. 容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。 9. 吸入した場合：気分が悪い時は、医師に連絡してください。 10. 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。 11. 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。 12. ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当を受けてください。 13. 眼の刺激が続く場合は：医師の診断／手当を受けてください。 	<ol style="list-style-type: none"> 14. 施錠して保管してください。 15. 直射日光や水濡れは厳禁です。 16. 塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。 17. 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50°C以上(スプレー缶の場合は40°C以上)の温度にばく露しないでください。 18. 容器はつり上げないでください。やむを得ずつり上げる際には、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意して下さい。(偏荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。) 19. 内容物／容器を国／地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。 20. 容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。 <p>■ 詳細な内容については、安全データ(SDS)をご参照ください。 ■ 本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。</p>	
危険	危険有害性情報	
	1. 強い眼刺激／2. 発がんのおそれ	

※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示と異なる場合があります。
※記載されていない各製品の安全衛生上の注意事項につきましては、各製品の安全データシート(SDS)をご参照ください。

ニッペ パーフェクトインテリアEMO		横倒禁止
<ol style="list-style-type: none"> 1. 本来の用途以外に使用しないでください。 2. 使用前に取扱説明書を入手してください。 3. すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。 4. 取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。 5. 必要な場合以外は、環境への放出をさけてください。 6. 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用してください。 7. 口をすすいでください。 8. 容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。 9. 吸入した場合：気分が悪い時は、医師に連絡してください。 10. 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。 11. 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。 12. ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当を受けてください。 13. 眼の刺激が続く場合は：医師の診断／手当を受けてください。 	<ol style="list-style-type: none"> 14. 施錠して保管してください。 15. 直射日光や水濡れは厳禁です。 16. 塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。 17. 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50°C以上(スプレー缶の場合は40°C以上)の温度にばく露しないでください。 18. 容器はつり上げないでください。やむを得ずつり上げる際には、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意して下さい。(偏荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。) 19. 内容物／容器を国／地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。 20. 容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。 <p>■ 詳細な内容については、安全データ(SDS)をご参照ください。 ■ 本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。</p>	
危険	危険有害性情報	
	発がんのおそれ	

※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示と異なる場合があります。
※記載されていない各製品の安全衛生上の注意事項につきましては、各製品の安全データシート(SDS)をご参照ください。

日本ペイント株式会社

お客さまセンター

☎03-3740-1120

☎06-6455-9113

<http://www.nipponpaint.co.jp/>

<http://www.emo-paint.com/>

- 本カタログの内容については、予告なしに変更することがありますのであらかじめご了承ください。
- ニッペパーフェクト(登録第5523001号)は、日本ペイントホールディングス株式会社の登録商標です。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社
または日本ペイント株式会社・その他の会社、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2016 NIPPON PAINT CO.,Ltd All rights reserved.

カタログNo.

NP-U039

MX160600H

2016年6月現在